



お仕置き

✍ Adelheid Marie Bwire

✍ Melany Pietersen

💬 Noriko Shibata

💬 Japanese

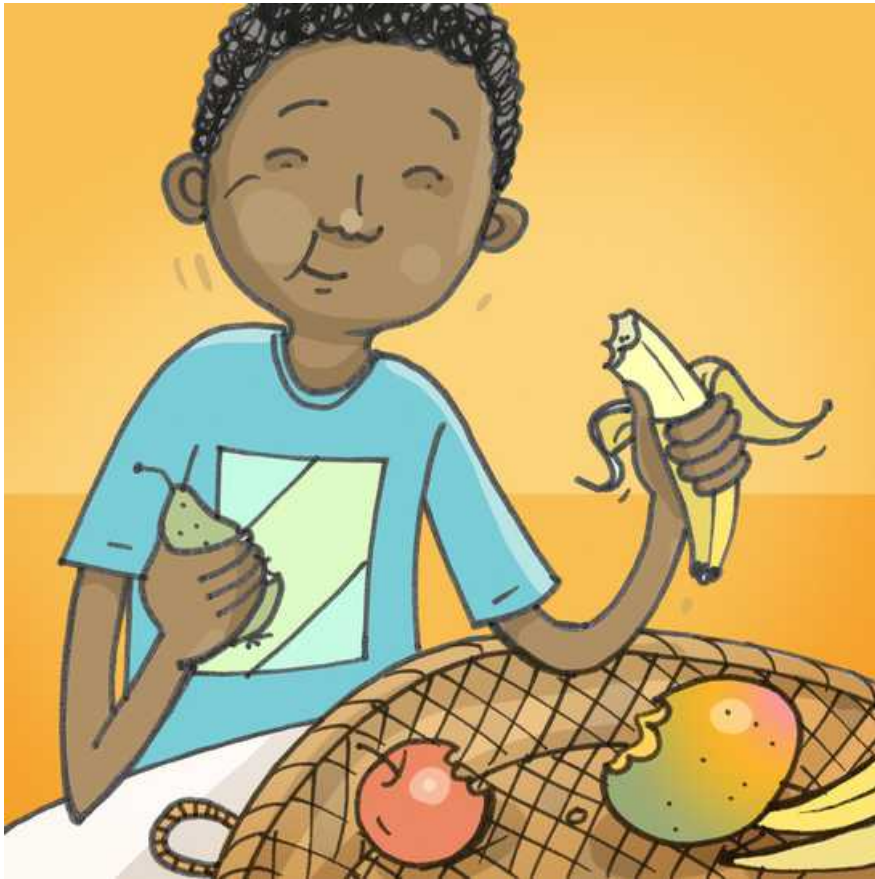
📊 Level 2



ある日、お母さんは、果物をたくさん手に入れました。



「私たち、いつ果物を食べられるの？」と尋ねると、お母さんは「今夜にでも食べましょう」と言いました。



お兄ちゃんのラヒームは、食いしんぼう。全ての果物を味見して、たくさん食べてしまいます。



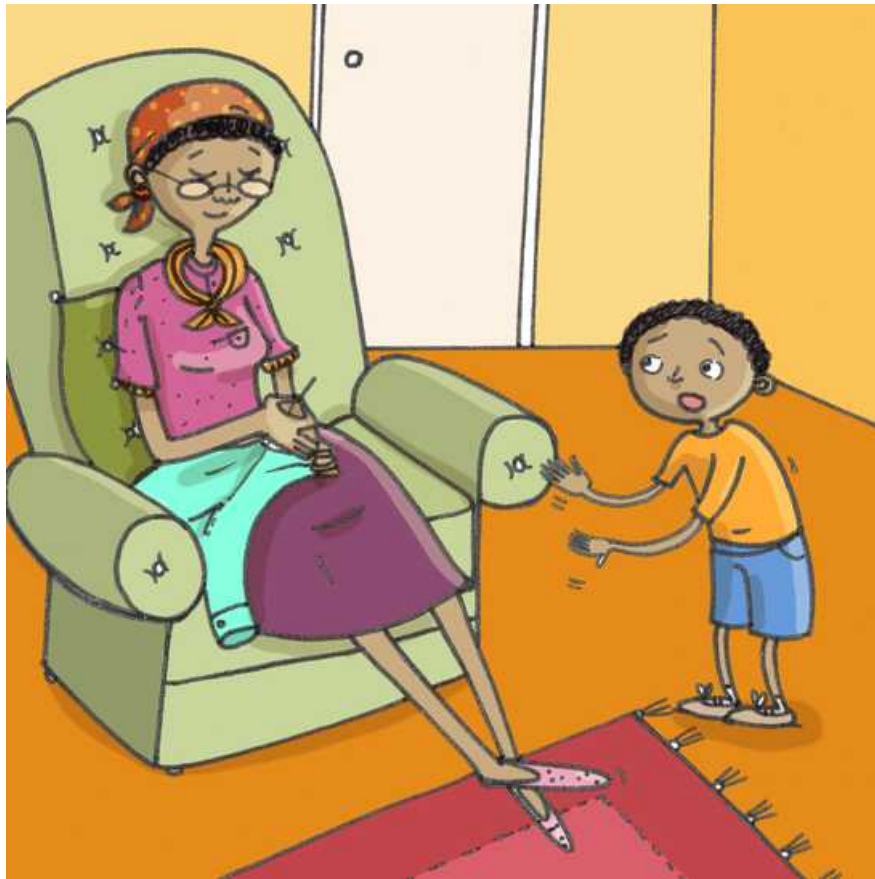
「ほら見て、ラヒームったら！」弟が叫んでいます。「ラヒームはお行儀が悪くて、わがままなのよ」と私は言いました。



お母さんは、ラヒームのことを怒っています。



私たちもラヒームに腹を立てています。でも、ラヒームは自分のしたことを悪いと思っていません。



「ラヒームにお仕置きをしないの？」弟は、お母さんに尋ねました。



「ラヒーム、もうすぐ自分のしたことを後悔するわよ」とお母さんは、言い聞かせました。



ラヒームは、気持ちが悪くなり始めます。



「おなかがとても痛いよ」と小さな
声でささやきました。



お母さんは、こうなることがわかっていました。果物は、ラヒームにお仕置きをしているのです！



その後、ラヒームはみんなに謝りました。「僕はもう二度と欲張ったりしないよ」と約束し、みんなもラヒームを信じることにしました。



Storybooks Canada

storybookscanada.ca

お仕置き

Written by: Adelheid Marie Bwire

Illustrated by: Melany Pietersen

Translated by: Noriko Shibata

This story originates from the African Storybook (africanstorybook.org) and is brought to you by Storybooks Canada in an effort to provide children's stories in Canada's many languages.



This work is licensed under a Creative Commons
[Attribution 3.0 International License](http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/).